

真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 概要版

Maniwa Civil Action ～みんなで挑む、シビれるアクション 地域をうるおす、ゼロエミッション～

地球温暖化の影響

■世界で起きている影響

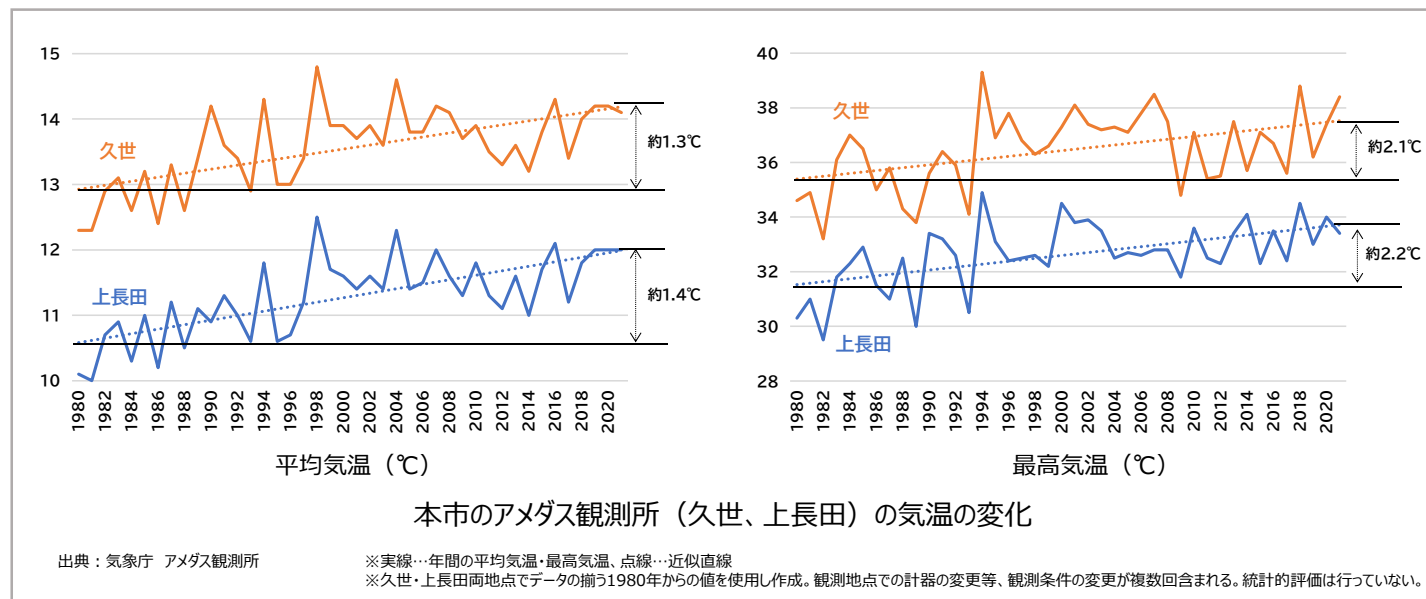
- 世界では、海面水位上昇による国土消失の危機、北極海の海水減少による生態系への影響、極端現象・災害の増加、食料への影響、感染症の拡大など、様々な影響が出ています。
- 日本においても、熱中症リスクや災害リスクの増大、水供給や農水産業・生態系への影響などが出てきています。

■真庭市における影響

- 本市も例外ではなく、アメダスデータでは気温上昇の傾向が確認できるほか、平成30年7月豪雨など、温暖化に伴う気温上昇などが一因と考えられる災害も生じています。



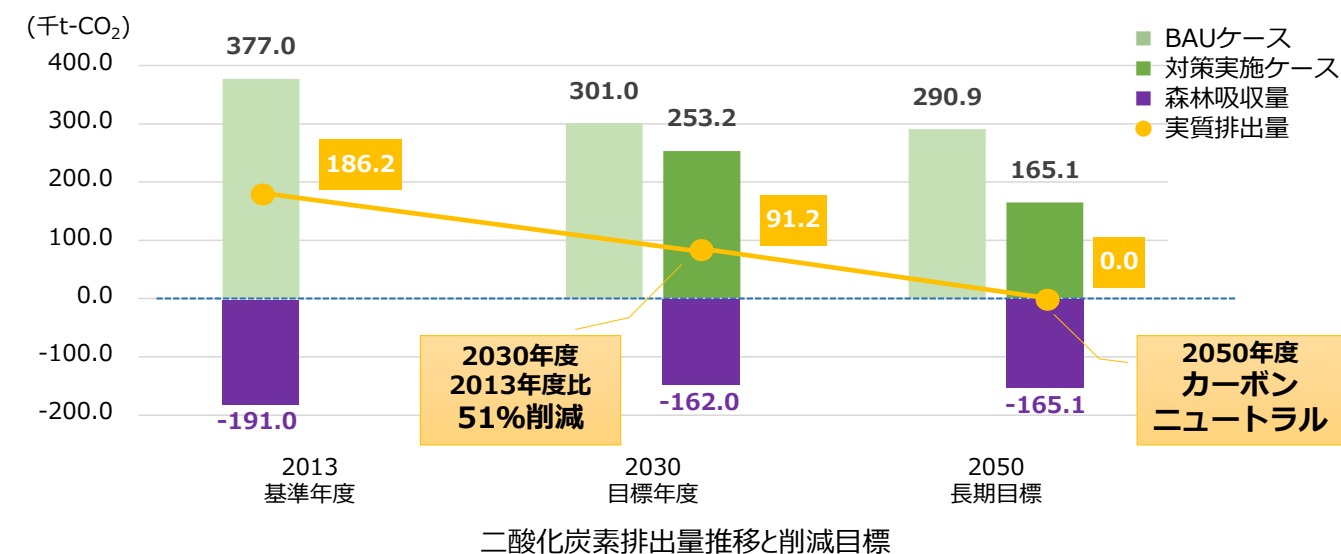
ブドウの着色不良
出典：平成29年地球温暖化影響調査レポート（農林水産省）



温室効果ガス排出削減の目標等

■真庭市の二酸化炭素排出削減目標

基準年度 2013年度 実質排出量（186.2千t-CO₂）
 目標年度 2030年度 実質排出量を基準年度比51%削減（91.2千t-CO₂）
 長期目標 2050年度 実質排出量ゼロ（＝カーボンニュートラル）を実現



目標達成のための取り組み

地球温暖化の影響とみられる気候変動は、自然豊かな本市にとっても対岸の火事ではなく、将来世代にわたる責任として、当事者として脱炭素に取り組む必要があります。

地下資源への
依存

転換

森林・土地など
地上資源の
持続的な活用

地上資源の豊富な
真庭市にとって
大きなチャンス

脱炭素の取り組み
によって…

- 「環境」「社会」「経済」の調和のとれた多様性と循環性のあるまちを目指し、自然とともに営む豊かな暮らしを未来に引き継いでいく
- 地域内の資金循環を創出し、地域経済の活性化を図る
- その資金を活用し、地域の困りごとの解消を図る

■脱炭素の取り組みの5本の柱

次の5本の柱とその代表的な取り組みを中心に、市民・事業者の方々とともに脱炭素の取り組みを推進し、脱炭素社会の実現を目指します。

①地域活性化の推進と地域課題の解決

バイオマス発電所の増設検討、生ごみ資源化、市産材を利用した製品の開発・販売、普及・教育の推進など

生ごみの分別収集と資源化



②大規模災害時にも安心してエネルギーを活用できる体制の整備

EVシェアリング、公共施設への再生可能エネルギー・蓄電システムの導入、指定避難所への給電体制整備など



クールチョイス推進事業 実践イベントでの災害支援電源供給車（EV）展示

③環境にやさしいライフスタイル・経営の実践

ごみ減量の推進、クールチョイスの推進、自転車・公共交通機関の利用促進、エコドライブの実施やカーシェアリングの活用、住宅やビルの省エネルギー化など

④再生可能エネルギーと地域の共生

再生可能エネルギーの導入促進区域の検討、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど

⑤情報発信によるシビックプライドの醸成と地域価値の向上

観光事業と連携した情報発信、普及啓発、市内交流事業など



観光事業と連携したエコテイクアウトの実践

真庭市の取り組む適応策（適応策…気候変動による悪影響を軽減し、または有効に活用する施策）

二酸化炭素排出削減の取り組み（緩和策）の効果が現れるには長い時間がかかります。また過去に排出された温室効果ガスは大気中に蓄積されており、ある程度の気候変動は避けられません。

そのため気候関連災害等に対するレジリエンス向上及び気候変動の影響への適応対策が不可欠です。

行政の取り組み

【悪影響の低減】

- 災害時ハザードマップの整備
- 水資源確保、水の再利用
- 治水設備整備、河川整備
- 下水施設の補強、雨水貯留施設設置

【影響の有効活用】

- 気温上昇に伴った新たな作物の栽培、品種転換、農家への技術支援

住民・事業者の皆様へお願いしたい取り組み

- 熱中症予防 …適切なエアコンの使用、こまめな水分補給、外出時の帽子・日傘の使用 など
- 虫刺されに注意 …蚊の多い場所では肌を露出せず、虫よけを使用

緩和 とは？ 2つの 適応 とは？



出典：気候変動適応情報プラットフォーム